

30104鉄道軌道建設工事における死傷災害事例(最大99事例まで) (2020年)

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	起因物(小)	労働者規模
1	2020	2	5 ～ 6	出張所に到着し、自家用車から降りて玄関に向かう際、凹凸している路面に足を取られ、左足が内側にねじれる格好でつまずいた。その際、左足小指を疲労骨折した。	25	2	719	100 ～ 299
2	2020	4	13 ～ 14	駅間でつき固め作業が終了後、Sライナーをオンレール状態にし、添乗装置に乗り込もうとしたときに、バランスを崩して咄嗟に運転席のレバーを引っ張ったとき、Sライナーが動いた。その際、キャタピラ後部側に転落し、左太腿打撲、第3、4腰椎右横突起部骨折を負った。	38	1	149	10 ～ 29
3	2020	4	13 ～ 14	駅間で作業終了後、デジタルケージを誘導員に渡すため、Sライナーのすぐ近くにいたため、Sライナーが動いたとき、軌陸車輪に衝突して左第5趾中節開放骨折、左足広範囲挫創となった。	45	6	149	10 ～ 29
4	2020	5	23 ～ 24	線路保守作業として、並マクラ木交換作業に従事していたが、レール頭部に掛けていた右足が滑り、レール頭部とマクラ木の隙間に右足を挟んで右腓骨を折った。	35	19	419	10 ～ 29
5	2020	5	3 ～ 4	現場で工事作業を終え、帰社途中のコンビニエンスストアの駐車場で、買い物を終え、お店を出たときに、車止めにつまずいて転倒し、右足首を脱臼骨折した。	67	2	921	30 ～ 49
6	2020	5	0 ～ 1	線路内で、バラスト撤去中、枕木を移動した際、枕木と仮受台に挟まれ、左手人差し指第一関節基節骨を折った。	32	7	212	30 ～ 49

7	2020	7	14 ～ 15	作業を終え社車で走行中、交差点手前に停車中のトラックの右車線を走行し交差点に入ったところ、左側から直進してきた自動車を認め、急ブレーキを掛けたが間に合わず、相手車両の右側のタイヤハウス付近に衝突した。その際、頸部・腰部捻挫、外傷性末しょう神経障害・左膝半月板損傷を負った。	25	17	231	1～ 9
8	2020	10	11 ～ 12	線路のレール取替工事中、交換機前でパットレバーの操作を行っていた際、左手を旧レールの頭部に掛けたところ、手袋が回転ローラーに引っ張られ、小指がローラーとレールに挟まれて圧挫傷を負った。	34	7	169	50 ～ 99
9	2020	11	10 ～ 11	仮線路防護網と足場朝顔部を繋いでいる上部単管パイプへウィンチを設置し、端尺柱（H鋼L=2.5m、120kg）を建て込む作業を行っていた。作業完了後、下部横地単管パイプ（高さ約60～70cm）に足を乗せ、ウィンチを撤去しようとしたとき、足が滑りブラケット足場上に尻もちをつくような体勢となり、腰部を圧迫骨折した。	55	1	411	10 ～ 29
10	2020	11	14 ～ 15	交差点で工事に伴う現場調査をしていたとき、ガードレールを跨ごうとして縁石で滑り、股間をガードレールに打ちつけて尿道を損傷した。	38	3	418	1～ 9

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害事例\(最大99事例まで\) \(2020年\)](#)に戻る。